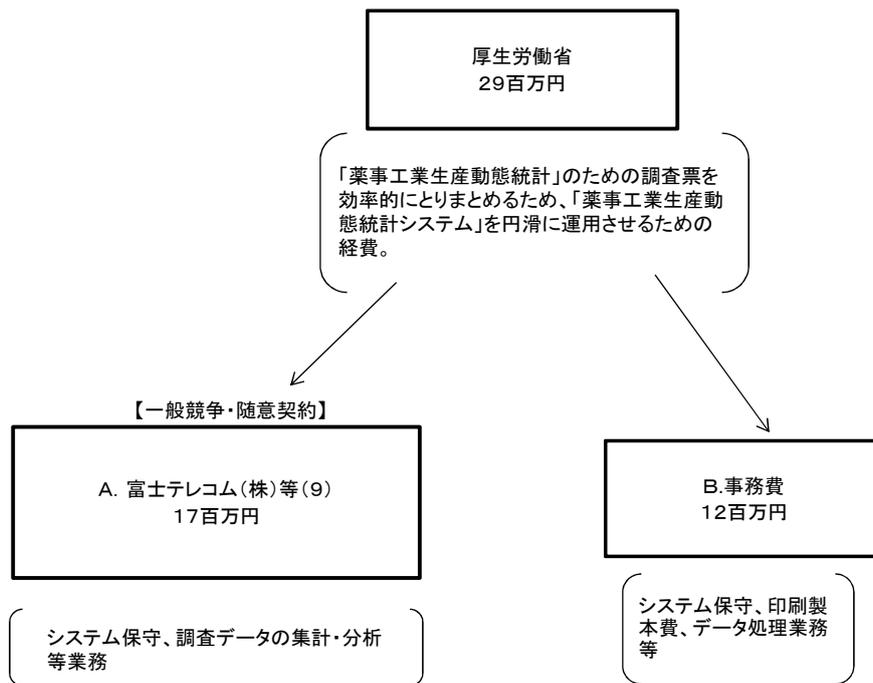


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	薬事工業生産動態統計システム経費			担当部局庁	医政局	作成責任者		
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	経済課	課長：城 克文		
会計区分	一般会計			政策・施策名	1-8-1 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	薬事工業生産動態統計調査規則、統計法、統計法施行令			関係する計画、通知等	統計調査等業務の業務・システム最適化計画			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	統計法に基づく基幹統計調査として、医薬品、医薬部外品、衛生材料、医療機器及び再生医療等製品に関する毎月の生産(輸入)等の実態を明らかにする「薬事工業生産動態統計」を作成している。統計を効率的に作成するため、「薬事工業生産動態統計システム」を整備・運用することにより、迅速に統計表を公表することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	「薬事工業生産動態統計」のための調査票を効率的にとりまとめるため、以下①～③で構成される「薬事工業生産動態統計システム」を円滑に運用させるための経費。 ①政府統計共同利用システムに対応した調査票を作成するための事業者用ソフトウェアの作成・運用支援業務 ②①で作成された管轄事業者の調査票をとりまとめるための都道府県担当者用ソフトウェアの作成・運用支援業務 ③厚生労働省用システムを使用し、全調査票データを取りまとめ、データベースの管理や統計表を作成するための業務							
実施方法	直接実施、委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		当初予算	36	32	29	30	78	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	36	32	29	30	78		
	執行額	34	31	29				
執行率(%)	94%	97%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	この事業は、省内各都府県が実施している各種政策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施しているものであり、年次・周期調査を1年以内に公表する。	年次・周期調査を1年以内に公表。	成果実績	%	100	100	100	
			目標値	%	100	100	100	100
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	統計法に基づき年次・周期調査は1年以内に公表する。	活動実績	100	100	100	100		
		当初見込み	年度内	23	24	25	26	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	薬事工業生産動態統計システム経費の執行率	単位当たりコスト	百万円	34	31	29	30	
	単位当たりコスト=X/Y X:「薬事工業生産動態統計システム経費執行額」 Y:「薬事工業生産動態統計年報発行回数」	計算式	X/Y	34/1	31/1	29/1	30/1	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0	0	薬事工業生産動態統計システムは、平成29年1月に政府共通PFに移行予定である。そのため平成28年度予算要求において、移行経費(48百万円)を要求しているため要求額が増加している。				
	医薬品審査等業務庁費	30	78					
計	30	78						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	統計法に基づく基幹統計調査であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。また、経産省所管の鉱工業指数等に使用されるなど公共性は高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	統計法に基づく基幹統計資料であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	統計法に基づく基幹統計資料であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	統計データ処理業務やシステムヘルプデスク業務については、一般競争入札を実施し、競争性が確保されるようにしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最低限の費目・使途に限定した予算執行を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	年次・周期調査を1年以内に公表するものであり成果目標に見合ったものである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	省内各部局等が実施している各種政策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施しているものであり、年次・周期調査は1年以内に公表し見込みにあったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	調査データについては、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料、都道府県別の業事統計作成や経産省所管の鉱工業指数等に使用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	統計体系の根幹となる基幹統計を作成するための調査として位置づけられ、医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品に関する生産の実態等を明らかにすることを目的として毎月調査を実施し、これらをまとめた年次・周期調査を1年以内に公表している。業事工業生産動態統計調査を例年実施・公表することにより、施策の基礎資料としての活用のほか、業界団体における調査研究等に利用されている。また、経済産業省所管の鉱工業指数や都道府県別の業事統計作成用調査データを提供している。統計データ処理業務やシステムヘルプデスク業務については、一般競争入札を行い競争性を確保している。			
	改善の方向性	年次・周期調査の公表について、統計法第8条において1年以内に公表することになっている。平成21年までの年次・周期調査は、1年以内の公表ができなかったが、集計を速めた結果、平成22年以降の年次・周期調査は1年以内の公表を行っている。26年の年次・周期調査も1年以内に公表予定。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品に関する生産の実態等を明らかにすることを目的として、年次・周期調査を公表するものであるが、滞りなく公表されていること、また、執行率も適切であることから、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	235	平成23年度	210	平成24年度	177
平成25年度	204	平成26年度	217		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.富士テレコム(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	業事工業生産動態統計データ処理業務等	17			
計		17	計		0
B.インフォテック(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	業事工業生産動態統計システムサポート業務	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士テレコム(株)	薬事工業生産動態統計データ処理業務	11.3		58.4%
2	富士テレコム(株)	薬事工業生産動態統計システム用機器更改	4.2		81%
3	富士テレコム(株)	薬事工業生産動態統計調査都道府県システム改修	0.9	随意契約	-
4	富士テレコム(株)	薬事工業生産動態統計調査事業者システム改修	0.8	随意契約	-
5	富士テレコム(株)	薬事工業生産動態統計調査システム機器保守	0.4	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	インフォテック(株)	薬事工業生産動態統計システムサポート業務	3.2		93.5%
2	統計印刷工業(株)	薬事工業生産動態統計月報(平成26年3月～平成26年8月分)	1	随意契約	-
3	統計印刷工業(株)	薬事工業生産動態統計月報(平成25年12月～平成26年2月分)	0.7	随意契約	-
4	統計印刷工業(株)	薬事工業生産動態統計月報(平成26年9月～平成26年11月分)	0.7	随意契約	-
5	(株)太陽美術	薬事工業生産動態統計年報	2	随意契約	-
6	協新流通デベロッパ(株)	梱包発送	2	随意契約	-
7	大和総合印刷(株)	薬事工業生産動態統計調査票印刷	2	随意契約	-
8	(株)メディア総合研究所	薬事工業生産動態統計年報概要英訳版作成	0.2	随意契約	-
9	富士マイクロ(株)	薬事工業生産動態統計調査事業者システムCD-ROM製造	0	随意契約	-